

恵泉女子大学教職課程

履修カルテ

～教師を目指す私の学びの記録～

フリガナ			
氏名			
学部生記入欄	所属	学部	学科
	在籍期間	年 4月 入学	年 3月 卒業（予定）
	学籍番号		
科目等履修生記入欄	所属	学部	学科
	在籍期間	年 月 から	年 月 まで（予定）
	科目等履修生番号		

履修カルテについて

【目的】

『履修カルテ』とは、教職課程を履修している学生自身が、学習状況や教員に必要な知識技能の習得状況を把握し、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手掛かりにしてもらうためのものです。「教職実践演習」(4年次後期)をはじめ、担当教員による指導にも用いられます。

【作成時期】

教職課程履修1年目から教員免許取得まで、継続して作成します。

【内容】

「1. 教育の基礎的理解に関する科目の履修状況」、「2. 各教科の指導法に関する科目の履修状況」、「3. 教科に関する科目の履修状況」、「4. 介護等体験に関すること」、「5. 教育実習に関すること」、「6. その他の教職に関連する活動等」、「7. 自己評価シート」、「8. 総合自己評価」、「9. 教職に関する科目のレポート類」により、構成されています。

【作成・記入の手順】

- ① 必要事項を記入します。
- ② 学期ごとに、履修状況を記入します。
- ③ 学年ごとに、自己評価シートおよび総合自己評価を記入します。
- ④ 介護等体験、教育実習、教職に関連するボランティア等の活動について、適宜記入します。
- ⑤ 欄が足りなくなった場合は、各自、適宜に欄を増やすなどして使用してください。
- ⑥ 各自、教職実践演習用の指定されたファイル(紙製フラットファイル、A4 サイズ、ヨコ型)に、履修カルテ及び必要な書類を綴じ込みます。

【提出時期】

学期の初めや、「教職実践演習」の初回授業時(教育実習実施年度の後期授業開始時)等に提出が求められますので、必ず期限を守って提出して下さい。

提出期限については、授業中あるいは@K の掲示で指示します。提出先の記載があればよいかと思います。

【注意事項】

- ・履修カルテの提出がない場合、「教育実習Ⅰ」及び「教育実習Ⅱ」「教職実践演習」の履修は認められませんので、十分注意してください。
- ・欄が足りない場合は、適宜、欄を増やして記入してください。

「教職実践演習」について

【科目の趣旨】

この科目は、教職課程履修の総括的科目として位置付けられています。教員養成段階で習得すべき教員として必要な知識や技能、資質と能力を、どのように獲得できたかの点検と評価を行うことを目的としています。

【恵泉女学園大学における教職実践演習の概要】

① 開講時期

4年次秋学期に開講します。

② 授業形態

履修者数 15 人程度の演習形式で行います。

③ 授業内容

各人の教育実習の経験を振り返り、履修カルテも活用しながら、「使命感・責任感・教育的愛情」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」「教科指導力」といった、教師に必要な力や理解の向上と定着を図ります。模擬授業、ロールプレイング、グループディスカッションなど実践的な方法を用いて学習します。

④ 注意事項

「教職実践演習」の履修登録を行うためには、期限までの履修カルテの作成及び提出が必須となります。「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」の履修登録についても同様です。

履修カルテ記入の仕方

1. 「1. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」(P. 5), 「2. 各教科の指導法に関する科目の履修状況」(P. 10) 「3. 教科に関する科目の履修状況」(P. 11~)について

履修した科目について、「単位数」、「修得年度」、「教員名」、「成績評価」、「振り返り」を記入します。
成績評価がまだ出ていない場合は「履修中」と記します。単位を取得しなかった科目を記入する必要はありません。

(記入例) 1. 「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」

※ 「振り返り」欄には、授業のテーマや、自分が学んだこと・自己の課題等を簡潔にまとめ、記入する。

2. 「4. 介護等体験に關すること」(P. 15) 及び「5. 教育実習に關すること」(P. 16) について

「介護等体験に關すること」は、介護等体験が終了した段階で記入します。「課題」については、介護等体験で見つかった自己の課題について記入します。 「教育実習に關すること」は、実習予定校が決まった段階で実習校名などを可能な範囲で記入します。教育実習が終わった段階で、「教育実習で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと」をまとめます。

3. 「教育実習：教職実践演習担当者によるコメント記載欄」(P. 16)について

この欄は記入しないこと。

4. 「6. その他の教職に関連する活動等」(P. 17) について

学校ボランティアや学習支援員、部活動の指導など、教職に関連する活動があれば記入します。

(記入例) 4. その他の教職に関連する活動等

5. 「7. 自己評価シート」(P. 20) について

各学年が終了する段階で、その学年での教職に関する学習過程について自己評価を行い、該当する数字を記入します。1年次終了時、2年次終了時、3年次終了時、4年次春終了時に自己評価を行います。

6. 「8. 総合自己評価」(P. 22～) について

各学年が終了する段階で、教職に関する1年間の学習や体験を全体的に振り返り、総合的な自己評価を行います。1年間で特に努力したこと・達成できたこと・成長したことや、次年度に向けての課題や抱負、自分のなりたい教師像などを文章にまとめて記入します。1年次終了時、2年次終了時、3年次終了時、4年次春終了時に1年間の振り返りと総合的な自己評価を行います。

1. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況（その1）

法令上の区分	科目名 [教員名]	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理 []	2				
	教育概論 []	2				
	教育制度論 []	2				

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教育の基礎的理 解に関する科目等の履修状況（その2）

法令上の区分	科目名 [教員名]	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
教育の基礎的理 解に関する科目	発達心理学 []	2				
	特別支援教育 []	2				
道徳、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目	道徳教育の 指導法 []	2				

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教育の基礎的理理解に関する科目等の履修状況（その3）

法令上の区分	科目名 [教員名]	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習・特別活動の指導法 (教育課程論を含む) []	2				
	教育方法論 (ICT 活用を含む) []	2				
	生徒指導論 []	2				

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教育の基礎的理理解に関する科目等の履修状況（その4）

法令上の区分	科目名 [教員名]	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育相談 []	2				
	進路指導論 []	2				
教育実践に関する科目	教育実習 I []	2				

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教育の基礎的理理解に関する科目等の履修状況（その5）

法令上の区分	科目名 [教員名]	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
教育実践に関する科目	教育実習Ⅱ []	3				
	スクールインターンシップ []	1				
	教職実践演習 []	2				

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

2. 各教科の指導法に関する科目の履修状況

科目名 〔教員名〕	単位数	修得 年度	成績 評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	(教員記入) 履修者の具体的な 傾向・特徴
()科 指導法 I []	2				
()科 指導法 II []	2				
()科 指導法 III []	2				
()科 指導法 IV []	2				

3. 教科に関する科目の履修状況 【1年次】

科目名 〔教員名〕	単位数	修得年度	成績評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	備考
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					

3. 教科に関する科目の履修状況 【2年次】

科目名 〔教員名〕	単位数	修得年度	成績評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	備考
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					

3. 教科に関する科目の履修状況 【3年次】

科目名 [教員名]	単位数	修得年度	成績評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	備考
[]					
[]					
[]					
[]					
[]					
[]					
[]					
[]					

3. 教科に関する科目の履修状況 【4年次】

科目名 〔教員名〕	単位数	修得年度	成績評価	振り返り (学んだこと・自己の課題等)	備考
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					
〔 〕					

4. 介護等体験に関すること

(体験先)

名称	期間	学んだこと	課題	備考
都立 多摩桜の丘学園				
社会福祉法人 東京光の家 施設名:()				

5. 教育実習に関すること

(実習予定校)

学校名	所在地	実習期間	実習教科	備考

(教育実習で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと)

（記入欄）

教育実習・教職実践演習担当者によるコメント記載欄

（記入欄）

6. その他の教職に関連する活動等（ボランティア活動等について記入）

NO.	名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
1					
2					
3					
4					
5					

NO.	名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
6					
7					
8					
9					
10					

NO.	名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
11					
12					
13					
14					
15					

7. 自己評価シート

※ (5:とてもよくできた, 4:ある程度できた, 3:どちらともいえない, 2:あまりできなかった, 1:できなかった)

必要な資質能力指標		1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次春 終了時
学校教育についての理解	1 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか				
	2 教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか				
	3 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか				
生徒についての理解	4 子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得していますか				
	5 学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか				
	6 いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか				
他者との協力	7 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解し、他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか				
	8 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか				
	9 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなしたりできますか				
コミュニケーション	10 子どもたちの発達段階を考慮し、子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか				
	11 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか				
教科・教育課程における基礎知識・技術	12 教科書や学習指導要領の内容を理解し、教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか				
	13 道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得し、実践できますか				

必要な資質能力指標			1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次春 終了時
教科・教育課程における基礎知識・技術	14	板書や発問、的確な話し方など基本的な表現の技術を身に付け、情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか				
教育実践	15	教材を分析し、教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか				
	16	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか				
課題探求	17	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか				
	18	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に关心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか				

8. 総合自己評価（1年次）

8. 総合自己評価（2年次）

8. 総合自己評価（3年次）

8. 総合自己評価（4年次）

9. 教職に関する科目のレポート類

次ページ以降に、教職に関する科目の授業で提出したレポート等を、
自分の学びの記録として綴じ込んでおくこと。